

年	沿革
1976年	アメリカ カリフォルニアで車いすテニスが始まる。
1982年	車いすテニスが神奈川県・大阪市・福岡県飯塚市で紹介される。
	国際障害者レジャー・レクレーション・スポーツ大会(於:愛知県蒲郡市)で外国選手と対抗試合。
1983年	脊髄専門病院・総合せき損センター(飯塚市)の体育館において車いすテニスの練習が始まる。
1984年	九州車いすテニスクラブ設立 (会長:角田信昭)
1985年	4月12日～14日 飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニスクラブ、飯塚ロータリークラブ)
	・日本で初めての車いすテニス・クリニックを開催
1986年	九州車いすテニス協会を設立(会長:麻生 泰)(日本初の車いすテニス協会)
	5月23日～25日 第2回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会、以後同協会が主催となる)
1990年	5月23日～27日 第6回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	・世界ランキング認定大会に指定される。
	全国身体障害者スポーツ大会(福岡国体)で車いすテニスが公開競技種目となる。
1992年	筑豊ハイツに車いすトイレと車いすで使えるシャワー室が完成
1994年	5月25日～29日 第10回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	・10回記念事業として、フォーラム、コンサート、テニス・クリニックを開催
	・10回記念事業としてテニス・キャンプを開催(目的:アジアの車いすテニスの技術向上と車いすテニス指導者の育成)
2002年	5月15日～19日 第18回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	・日本人初の快拳 斎田悟司選手優勝
	・ジョン・グリア選手(米)クリスティン選手(英) 筑豊ハイツにて拳式
	・飯塚国際車いすテニス大会創設者の一人、星野治氏(51歳)逝去
2003年	2月 西日本スポーツ賞(体育功労賞) 受賞
2004年	1月 特定非営利活動法人承認される。NPO法人九州車いすテニス協会として新スタート(理事長:麻生泰)
	5月11日～16日 第20回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	・スーパーシリーズに昇格
	11月 角田信昭氏(前大会実行委員長)ソロプチミスト財団社会ボランティア賞受賞
2006年	飯塚国際車いすテニス大会サポーターズクラブ導入
	5月16日～21日 第22回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	・男子シングルスで、国枝慎吾選手が初優勝
2009年	5月8日 25周年記念シンポジウム開催
	5月19日～24日 第25回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	・決勝戦をインターネットで生中継
2013年	5月29日～6月2日 第29回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	・女子シングルスで、上地結衣選手が初優勝

年	沿革
2014年	5月13日～18日 第30回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	・30周年記念シンポジウムを開催
	・男子シングルスで国枝慎吾選手、女子シングルスで上地結衣選手が優勝
2016年	3月 九州車いすテニス協会 福岡県知事賞 受賞(車いすテニスの普及・振興等)
	5月17日～22日 第32回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	10月 九州車いすテニス協会 文部科学大臣賞 受賞(スポーツの普及・振興)
2017年	4月 まんが「スポーツで地域活性化 Vol.10 Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会」発行
	5月16日～21日 第33回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)
	・男女シングルス決勝戦の様子がスカパーで生放送される。
2018年	3月 飯塚国際車いすテニス大会に天皇杯・皇后杯が下賜される。
	5月14日～19日 第34回飯塚国際車いすテニス大会(Japan Open 2018)開催(主催:九州車いすテニス協会・日本車いすテニス協会)
	11月 『飯塚国際車いすテニス大会を基軸としたテニスのまちづくり』事業が飯塚市企業版ふるさと納税の対象事業となる。
	11月 外務省日本文化紹介のウェブサイト「Japan Video Topics」でJapan Openが取り上げられ、7か国語で世界発信。
2019年	2月 総務省がふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として実施する、ふるさとづくり大賞「団体表彰」を受賞
	3月 筑豊ハイツテニスコートに常設観覧スタンドが完成
	4月7日 飯塚国際車いすテニス大会「第35周年応援フェス」をイオン穂波で開催
	4月23日～28日 第35回飯塚国際車いすテニス大会(Japan Open 2019)開催
	・クアードクラスシングルス優勝者に文部科学大臣杯を授与
	・飯塚市企業版ふるさと納税を活用し、大会の様子・試合の動画配信
	・外務省より駐日外交官11か国16名が大会視察。4月23日選手食事会出席、24日運営・試合観戦
	・4月27日 福岡県主催「飯塚国際車いすテニス大会観戦バスツアー」実施。福岡市内からのツアー客が大会観戦
2020年	3月 コロナウイルス感染症拡大のため、4月21日～26日開催予定の第36回飯塚国際車いすテニス大会(Japan Open 2020)の中止を発表
2021年	コロナウイルス感染症拡大のため第37回飯塚国際車いすテニス大会(Japan Open 2021)中止
2022年	コロナウイルス感染症拡大のため第38回飯塚国際車いすテニス大会(Japan Open 2022)中止
	4月21日～24日 代替大会 飯塚オープン2022(ITFフューチャーズシリーズ)開催
2023年	4月18日～23日 第39回飯塚国際車いすテニス大会開催(Japan Open 2023)開催
	・寛仁親王妃信子殿下 開会式ご臨席、大会初日ご視察
	・国枝慎吾氏、ゴードン・リード選手によるユニクロジュニアクリニックを開催
2024年	4月9日～14日 第40回飯塚国際車いすテニス大会開催(Japan Open 2024)開催
	・40周年記念パブリックビューイング開催